

【外国語】 杜崎 群傑 ゼミ



演習テーマ： 国際政治史：中国の近現代政治史を中心に

<ゼミ紹介・活動内容>

杜崎ゼミは中国の近現代政治史を中心に、国際政治史について学習していくゼミです。

突然ですが、みなさんは「国際政治史」と聞いてどんなイメージを持ちますか？ともすれば少し硬派な学問をイメージしたのではないのでしょうか。「国際政治史」とはもちろん、政治学・歴史学・国際政治学を組み合わせた学問です。学問にはそれぞれ存在意義がありますが、「政治学」は政治を学ぶことによって国民一人一人の幸せを探求する学問、「歴史学」は過去を知ることによって未来への糧とする学問とっていいでしょう。では、これらに国際を組み合わせた「国際政治史」が追及するものとは何でしょうか。それは国際政治の歴史を知ることにより、消極的には世界で戦争が起こらないようにするにはどうすべきか、積極的には人類の平和と幸福を追求し、世界が平和でいられるためにはどうすべきかを探求する学問なのです。

ただし、それを研究するにはゼミ単位ではさすがに規模が大きすぎます。そこで、私の専門でもある中国の近現代政治史を手掛かりに、上記の課題についても想像を及ぼす、それが杜崎ゼミの究極目標です（もちろん「国際政治」ですから、ゼミ生の興味関心によってはその他の国・地域を対象としても構いません）。

したがって、杜崎ゼミでは皆さんがこれまで経済学部で培ってきた知識と、本ゼミで学習する歴史・国際政治の知見を組み合わせ、現在世界で起こっている様々な問題について広く理解していき、世界が平和でいられるにはどうしたらいいのか、人が幸せでいられるにはどうしたらいいのかという課題を、一緒に追求していきたいと思えます。

これから受講する皆さんは、杜崎ゼミ2期生となりますが、1期生を3年間見てきた経験上、杜崎ゼミに入ると以下の3つのプレゼントがもらえるはずですよ。

1. 海外を自分の目で見るという経験

杜崎ゼミでは海外(中国)にグローバルフィールドスタディーなどの制度を使って研修旅行に行く予定です。短い期間ではありますが、一度自分の目で海外を見ておくと、意外に知らなかったこと、自分が想像していたことと違ったことなど、現地の実情を見ることができます。よく言うことですが、どんな〇〇国通でも、実際に1度でも行ったことがある人に

はかないません。まさに「百聞は一見に如かず」です。

2. 「言葉」を操るスキル

杜崎ゼミは「言葉」を鍛えるゼミです。具体的には、杜崎ゼミでは参考文献を用いて、要約・レジュメ作成をしてもらい、プレゼンを行ってもらいます。その他の受講生はそれに対して、質問を投げかけてもらいます。こうした一連の作業を通して、発言力やディスカッションのスキルを磨くこともできます。もちろん、経済・社会的問題は政治とは切り離せません。したがって、その時々に応じて政治以外の問題についても各自調査し、討論することもあります。こうして少しずつ見えてくる各自の興味関心に基づき、2年目以降は個人による調査を行い、最終的には4年次の卒論発表へとつなげていきます。私たち文系は将来的に「言葉」によって生業とします。「言葉」は知識を伴ってこそ力を発揮します。杜崎ゼミは「言葉」と「知識」両方を鍛えるゼミと言って良いでしょう。

3. 専門に特化して、これだけは一生懸命勉強したと言える経験

杜崎ゼミはサークル活動、部活動、その他勉学以外の活動を排除しません。むしろ大学生活を充実させてほしいので、ゼミの勉学と同時に日常の活動も一生懸命やってください。「文武両道」は大いに歓迎です。大学生活において、勉強と実生活両方が充実していれば、深い知識を有し、かつ他者の気持ちを理解できる、素晴らしい人材に育つことでしょう。それは勉学のみ行っても得られませんし、サークル活動のみを頑張っても習得できません。

いずれのプレゼントも、就職活動などで使える貴重な経験となると思いませんか？個人的にはなんでもかんでも就活のための勉強というのはあまり好きではないのですが、結果的に杜崎ゼミで頑張った学生はそれぞれ素晴らしい就職先に巡り合えました。もちろん、そうした能力(プレゼント)は簡単に手に入るものであれば誰も苦労しません。むしろ簡単に手に入った能力はすぐに使えなくなってしまう。そこで、杜崎ゼミでは「やるときは全力でやる」、「遊ぶときは全力で遊ぶ」ということをモットーに、メリハリをつけるゼミにします。大学生活とは基本的に「自由と責任」であると私は考えております。選択するのはみなさんの自由ですが、選択した以上は責任をもってやり遂げる気概をぜひ持ってほしいと思います。

以上のことから、杜崎ゼミは基本的にGPAは考慮に入れませんが、また外国語のゼミとなっておりますが、特に中国語履修者限定というわけではありません。代わりに「自由と責任」の原則に基づき、入った以上は最後までやりきる責任感を持つ人材を優先します。むしろ私にとっては、最初は多少できが悪くても、努力を積み重ねて最終的に大きく成長していく姿を見れる瞬間が最も教師冥利につける瞬間と考えております。私も皆さんと共に日々学習するつもりでゼミに臨みますので、ぜひ皆さんも一緒に楽しい学問の世界を垣間見ましょう。

<ゼミ生の声>

このゼミは平成27年度に初開講され、次で2期生となります。ゼミ生からは、「つらかったけどやりがいがあった」、「結果的にすごく勉強になった」といった評価を受けています。以下、その一部を紹介します(詳細は説明会にて)。

- ・全力で何かに取り組むことの面白さを知れること
- ・一分野に固まらず、様々な分野の勉強が出来るので多くの事を学べる
- ・他者の発表に対して質問することで物事を深く考えるようになった
- ・長期休みに合宿もあるので、ゼミ生と仲良くなること
- ・様々な志を持った仲間に出会えること